



日本技術士会神奈川県支部講演会（第159回CPD講座）

水素の最近の動向・展望及び製鉄・産業分野における水素利活用技術

～製造・輸送・貯蔵・利用技術の最前線～

官民一体となり、水素社会のインフラ整備やコスト削減、社会実装に向けた取り組みを推進している一社）水素バリューチェーン協議会(JH2A※)に理事会社として参画されている神戸製鋼所のCN推進グループ長および機械研究所主任研究員をお招きし、NEDO補助事業による中間媒体式液体水素気化器(IFV)や水電解式水素発生装置などカーボンニュートラル(CN)実現に挑む現場の生の声を伺い、CN推進への理解を深める機会とする。(※JH2A:政府,行政,研究機関等と540社以上が参加)

日時 : 2026年9月26日(土) 13:30～16:50 (受付: 13:00～)

会場 : 波止場会館 4階 大会議室(横浜市中区海岸通1-1) Web中継あり

参加費 : 日本技術士会会員(正・準) 2,000円

一般の方、未入会技術士 3,000円 協賛団体 無料(2名/1社まで)

定員 : 会場: 50名 Web: 200名

主催 : 日本技術士会神奈川県支部

【プログラム】

開会挨拶 日本技術士会神奈川県支部

■講演1 13:45～15:05

水素の最近の動向および技術展望について

概要: 政府、行政、研究機関などと540社以上が参加するJH2Aを中心に、クリーンエネルギーとしての水素の社会実現に向けた利用の実証が進められている。昨今の政情不安などにより、カーボンニュートラルへの取り組みへの減速感やグリーン製品市場形成の遅れなどがある。本講演では、水素利用の課題、最近動向および技術展望について紹介する。

講師: 野一色(のいしき) 公二 氏

株式会社神戸製鋼所 技術戦略企画部 CN推進グループ グループ長
エネルギー／水素WGリーダー

■講演2 15:20～16:40

製鉄・産業分野における水素利活用技術について

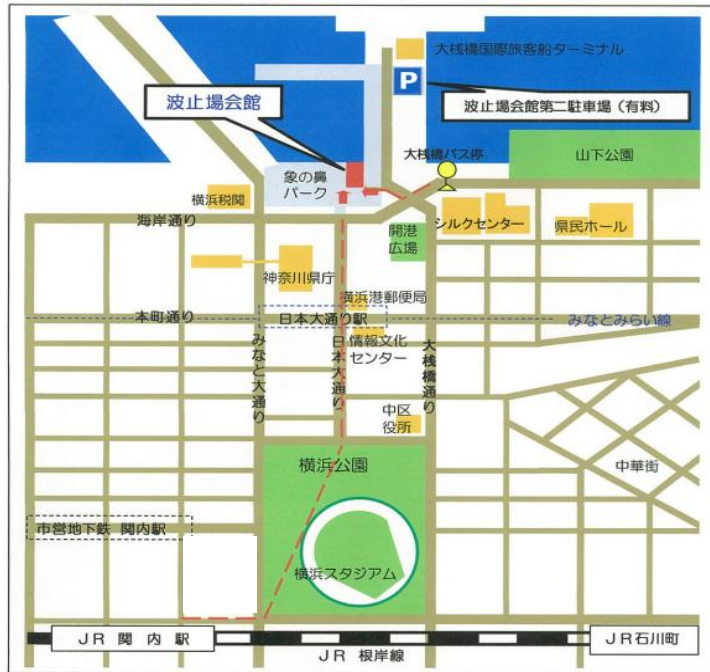
概要: 製鉄、産業分野における水素利活用に向けては、水素の製造・輸送・貯蔵・利用など様々な技術開発・実証が必要である。神戸製鋼では、水素製造においては水電解装置の活用、水素をためるでは水素吸蔵合金、水素を使うでは、ボイラー、加熱炉などの熱エネルギー向け、さらに燃料電池を搭載した建設機械など幅広い取組を実施している。本講演では、それぞれの技術の現状や課題について紹介する。

講師: 藤澤 彰利 氏

株式会社神戸製鋼所 技術開発本部 機械研究所 資源プロセス研究室
主任研究員

閉会挨拶 日本技術士会神奈川県支部

参加お申し込み方法は裏面をご参照ください。



波止場会館
 横浜市中区海岸通1丁目1番
 TEL:045-201-3842

[http://www.y-port-](http://www.y-port-kousei.or.jp/kaigisitsu/hatoba/access.html)

[kousei.or.jp/kaigisitsu/hatoba/access.html](http://www.y-port-kousei.or.jp/kaigisitsu/hatoba/access.html)

・みなとみらい線日本大通り駅3番または4番出口から徒歩5分

・JR・市営地下鉄関内駅南口から徒歩15分

・26系統バス(横浜駅、桜木町駅より)

大根橋バス停から徒歩3分

■ 申込方法 いずれかの方法で申し込んでください。

【会員】日本技術士会HP新CPD行事申込から

<https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/cpdevent/cpdeventlist.php>



【未入会・一般】下記フォームから

<https://forms.gle/GDLZgenQaiKNjWsh9>



■ 申込み締切り：2026年9月21日(月)

■ 定員： 会場：50名 Web：200名

■ 参加費支払い方法：「新CPD行事申込」で申し込み（会員）→会費請求時一括支払い

（開催3日前以降はキャンセル不可となりましたので、ご注意願います。）

その他の方法で申し込んだ方→事前振り込みをお願いします。（後日メールにてご案内します）

■ お問合せ先

日本技術士会神奈川県支部 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンター324

TEL：045-210-0337 FAX：045-210-0338 E-mail：kanagawa@engineer.or.jp